

	<b>作 業 標 準</b> <b>3M™ダイヤモンドグレード™マーカー</b> <b>ラバータイプ貼り付け作業</b>	スリーエム ジャパン株式会社
--	--	----------------

#### 【適用範囲】

本作業標準は、3M™ダイヤモンドグレード™マーカー ラバータイプ（以下反射板と略す）を、貼り付ける作業について適用する。

#### 【使用する材料、道具等】

1. 3M™ダイヤモンドグレード™マーカー ラバータイプ
2. 表面処理用具：白ガソリン（またはシンナー）、ウエス、サンダー、ワイヤーブラシ
3. 転圧用具：ハンドローラー、スキージー
4. 作図用具：貼り付け位置のマークに使用する鉛筆またはペン
5. プライマー：金属表面、塗装表面の場合：（塗布量：4 m<sup>2</sup>/ℓ）  
コンクリート、アスファルト表面の場合：C-100、P-50またはP-48（塗布量：4 m<sup>2</sup>/ℓ）
5. プライマー塗布用具：ペイントローラー、刷毛、スポンジ、プライマー入れ

#### 【作業手順】

1. 反射板被着面の清掃
 

反射板被着面の表面を、表面の埃等をほうきできれいに清掃する。被着面に油污れがある場合は白ガソリン（又はシンナー）をしみ込ませた綿ウエスでよく拭き取って乾燥させる。被着面が濡れている場合は十分乾燥させる必要がある。

被着体の表面に錆、腐食がある場合には、サンダーあるいはワイヤーブラシで除去した後に、上記清掃作業を行うこと。被着体表面に凹凸がある場合はパテ等により平滑な表面にして次工程を行う。
2. 貼り付け位置の確認、及び作図
 

所定の貼り付け位置に仮あわせをして位置を確認後、鉛筆またはペンで目立たない程度に位置出しを行う。
3. プライマー塗布及び乾燥
 

作図より少し大きめに被着体に適応したプライマーを塗布する。汚れを防止する必要がある場合は、マスキングを行う。
4. 反射板の貼り付け
  - ①まず反射板に取り付けられている両面テープの端部の剥離紙を2～3cm程度剥がし、2でつけた作図に従って仮あわせをして位置を確認し、被着面に貼り付ける。
  - ②残りの部分は剥離紙を徐々に剥がしながら、作図に従って空気を挟み込まないように注意し、十分転圧しながら貼り付けていく。

#### 【作業上の注意点】

1. 反射シートの貼り付け作業は埃などのない清浄な環境で行なう。
2. 反射シートの被着面は水濡れや油分、埃等の付着が無く、乾燥した状態にする必要がある。
3. 貼り付け温度は5℃以上で貼り付け作業を行なう。
4. 1度貼り付けてから引き剥がされた反射シートは接着性が低下している可能性があり、再び新品と同様の貼り付け強度を保つことは出来ない。